

本文

1. Word形式でご提出ください。
2. 本文中の英数字は全て半角としてください。読点「、」と句点「。」は全角としてください。
3. 「mm」「IV」のような環境依存文字は使用しないでください。「m」+「m」で「mm」、「I」+「V」で「IV」と表記してください。
4. 簡潔な表現を心がけ、冗長にならないようにしてください。
5. 和名だけでなく学名も記してください。命名者を記す場合は頭文字のみを大文字としてください(例参照)。
例) モンシロチョウ *Pieris rapae crucivora* Boisduval, 1836
6. 表記ゆれや重複、矛盾にご注意ください。誤脱字、特に学名、人名、地名、文献名の確認は入念に願います。
7. 本文中で文献を引用する場合、日本語文献の際は全角の()、英語文献の際は半角の()を表記してください。「,」「;」は半角を用いてください。
例)
著者が1人の場合 | 千葉 (2024) / (千葉, 2024) / Chiba (2024)/ (Chiba, 2024)
著者が2人の場合 | 千葉・田中 (2024) / (千葉・田中, 2024)/ Chiba & Tanaka (2024)/ (Chiba & Tanaka, 2024)
著者が3人以上の場合 | 千葉ら (2024) / (千葉ら, 2024) / Chiba et al. (2024) / (Chiba et al., 2024)
複数文献を引用する場合 | 千葉 (2023, 2024) / (千葉, 2023, 2024; 田中, 2024) / (Chiba, 2023, 2024)/(Chiba, 2023, 2024; Tanaka, 2024)/ (千葉, 2024; Tanaka, 2024) / (Chiba, 2024; 田中, 2024)
8. 同地域での普通種の記録や同種の短報が複数あるときは、1本にまとめてください。内容を鑑みて、編集段階でまとめさせていただく場合があります。
9. 学名や文献を引用の際の「,」「;」の後にはスペースを入れてください。

データ

1. データは、個体数、場所、年月日のほか、採集(目撃・撮影)者、標本の保管者は必ず明記し、以下のように表記してください。
例) 4 exs., 千葉市中央区青葉町, 24. IV. 2024; 2 ♂, 大多喜町大田代, 26. V. 2024, 筆者採集・保管。
2. 採集、撮影、観察場所は通称だけでなく、原則として字名まで表記してください。生息地保全のために場所を非公開とする際はその旨表記して下さい。
3. 読点「、」と句点「.」、英数字は半角としてください。

図表

1. 必ず本文中で引用し、キャプションをつけてください。キャプションは以下のように表記してください。
例) 図 1. 採集地点の様子; 図 2. 千葉市産アオヤンマ. (図は写真、Fig、表と読み替えてください)
2. 図・写真はJPEG形式もしくはTIFF形式、表はExcel形式のファイルをご提出ください。本文ファイル内に埋め込まず、単独のファイルとしてください。
3. 写真は300dpi以上の画質が望まれます。画質が不足している場合、掲載できないことがあります。

引用文献

1. 必ず本文中で引用してください。

2. 引用文献リストの配列は、第一著者の頭文字のアルファベット順とします。
同一著者で複数の引用文献がある場合は、発行年が古い順に配列してください。
同一著者で同一発行年の場合は数字の後に a, b, ...と小文字のアルファベットを書くことでそれぞれの文献を区別してください。
同一著者の単著、共著がある場合は、単著を先に書いてください。
3. 執筆者、発行年、タイトル、(編著者名)、書名、巻(号)、掲載ページの順に記述し、単行本の場合は出版社と所在地を記してください。句読点や括弧などの記号、英数字は半角とし、ページ範囲を表す場合は en ダッシュ「- (Windows であれば[Ctrl]+[-]で入力)」を利用してください(例参照)。
4. 雑誌名は省略しないでください。
例)
 - a. 雑誌に掲載された1つの報文を引用する場合
西 泰弘・城田義友, 2020. 2018・2019 年度県内採集会(市原市大福山) 報告. 房総の昆虫, (66): 1-12.
Watanabe K. & Y. Kamite, 2020. A new species of the genus *Laccophilus* (Coleoptera: Dytiscidae) from eastern Honshu, Japan, with biological notes. Japanese Journal of Systematic Entomology, 26(2): 294-300.
 - b. 単行本の全体を引用する場合
佐々治寛之, 1998. テントウムシの自然史. 251 pp. 東京大学出版会, 東京.
 - c. 分担執筆された単行本の一部を引用する場合
山崎秀雄, 1999. 千葉県の鞘翅目. pp. 634-718. 千葉県生物学会(編), 千葉県動物誌. 1247 pp. 文一総合出版, 東京.
 - d. 県や市町村が発行する報告書・資料の場合
千葉県レッドデータブック改定委員会(編), 2011. 千葉県の保護上重要な野生生物 -千葉県レッドデータブック- 動物編 2011年改訂版, 538 pp. 千葉県環境生活部自然保護課, 千葉.
千葉県環境生活部自然保護課, 2019. 千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト動物編 2019年改訂版, 40 pp. 千葉県環境生活部自然保護課, 千葉.
 - e. インターネット上の資料を引用する場合
環境省自然環境局野生生物課, 2021. 特定外来生物等一覧. <http://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/list.html> (閲覧: 2021年6月4日)
※原則として、管理責任者が明確なサイトや電子ジャーナル、公的機関の資料を対象とします。閲覧した日を記して下さい。またレッドデータブックなど、紙媒体でも発行されているものについては、紙媒体を引用してください。

投稿

1. 投稿者は会員に限られます。著者が複数の場合、少なくとも1人が会員であることを条件とします。ただし、依頼原稿等、編集委員が必要と認めた場合は、この限りではありません。
2. 他媒体との二重投稿は禁止します。
3. 原稿の受付期間は、ニュースレターやホームページ等で告知します。受付期間内に投稿してください。
4. 手書き原稿は受け付けません。

編集・校正

1. 事実誤認や文意不明瞭な場合は、差し戻して修正を求めたり、表現を手直しすることがあります。また、編集委員の意見に基づき、訂正や再検討を求める場合があります。
2. 著者校正は原則として初校のみとします。掲載ページ数の変更に関わるような大幅な修正はご遠慮ください。

3. 著者校正期間はお手元への初校到着後概ね1週間以内とします。急な対応が難しい場合はご相談ください。

その他

1. 原則として原稿は会誌発行後に廃棄します。
2. 著者には無料で電子版の別刷（PDF ファイル）を配布します。
3. 本誌は発行から5年後にホームページにてPDF ファイルを公開します。
4. 掲載記事の著作権は千葉県昆虫談話会に帰属します。
非営利目的のために掲載記事を使用する場合、また学術研究書、教育書あるいは啓発のための出版物（電子書籍含む）への利用を希望する場合は、千葉県昆虫談話会の許諾を得ることなく利用できるものとし、利用にあたっては出典（本誌誌名、掲載巻号、ページ等）を明記してください。

お問い合わせ・原稿の送信先:

editor@chibakon.comyu.org（編集長）

※このアドレスは10MB以上のファイルは受信できません。

※送信後1週間を過ぎても返信がない場合、大変お手数ですが再度メールをお送りください。